

福岡市の農林水産業及び中央卸売市場の概況



福岡市農林水産業・市場のシンボルマーク

「みのりん」

令和5年9月

福岡市農林水産局

－ 目次 －

1. 農業の概況

(1)	農家戸数、農業従事者数	P 1
(2)	農家の経営主の平均年齢	P 3
(3)	農地面積	P 3
(4)	耕作放棄地面積	P 3
(5)	生産量	P 4
(6)	生産額	P 4

2. 森林・林業の概況

(1)	規模別山林所有者数（令和2年）個人分	P 6
(2)	樹種別面積（令和2年）	P 6
(3)	樹齢別面積（令和2年）	P 6
(4)	荒廃森林整備面積の推移	P 6
(5)	森林経営に係る意向調査等	P 6
(6)	生産量・生産額	P 7
(7)	主伐面積	P 7
(8)	市公共施設整備における木材使用量	P 7

3. 水産業の概況

(1)	漁家戸数、漁業就業者数	P 8
(2)	漁業就業者の平均年齢	P 8
(3)	生産量	P 9
(4)	生産額	P 9

4. 中央卸売市場の概況

(1)	水産物部	P 11
(2)	青果部	P 12
(3)	食肉部	P 13

【参 考】

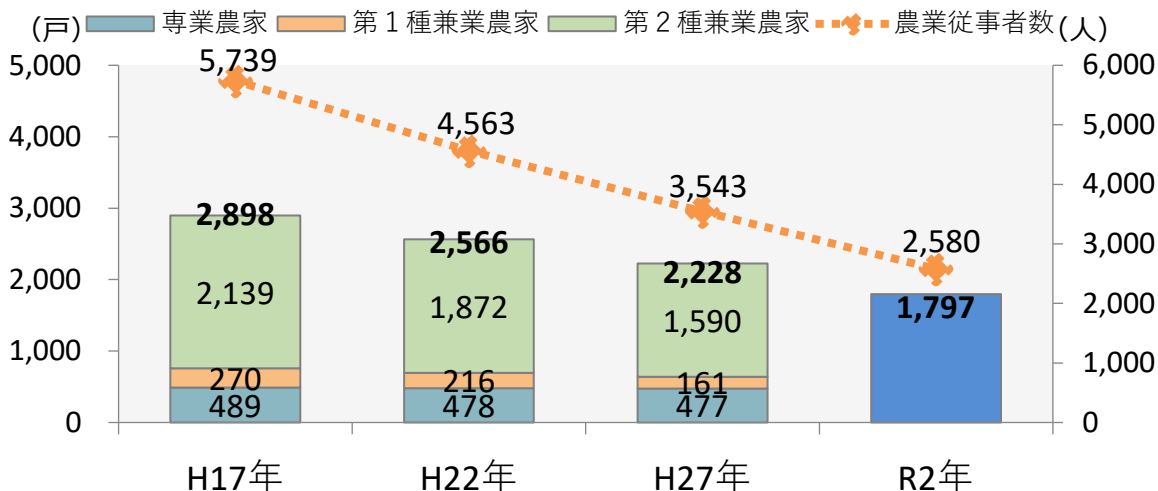
(1)	専業農家の一戸あたりの平均農業所得	P 14
(2)	沿岸漁業の一戸あたりの平均漁労所得	P 14

※資料中のグラフ、表については、単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

1. 農業の概況

- 令和2年の農業従事者数は2,580人、農家戸数は1,797戸で依然として減少傾向が続いている。
- 令和2年の個人経営体数は1,014経営体で、前回平成27年調査時の約8割に減少。
- 生産量は減少（対前年比 野菜0.5%減／花き1.8%減）しているが、生産額は全体として増加(対前年比9.2%増)している。

(1) 農家戸数、農業従事者数



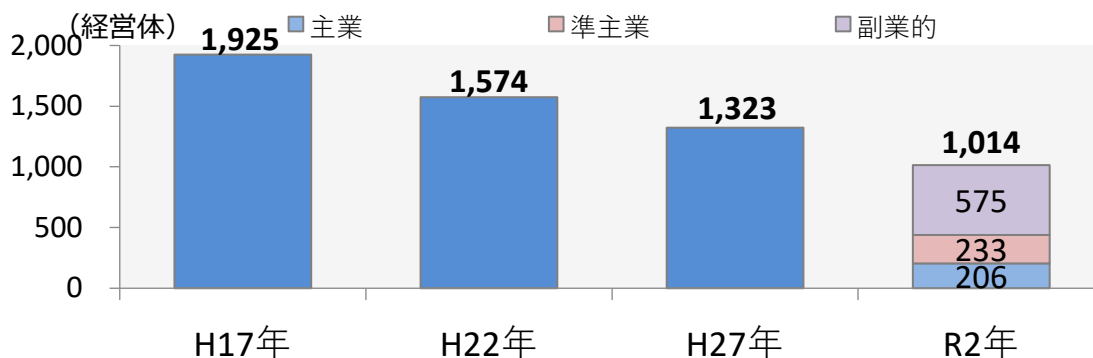
資料：農林業センサス

※第2種兼業農家には自給的農家を含む。

※R2年：国の農林業センサス(2020)の調査項目変更により、専兼別の内訳不明であるため、参考として、下記(1)-1にて農業経営体の主副業別の内訳を示す。

※各年2月1日時点

(1) - 1 主副業別農業経営体数（個人経営体）



※主業経営体：農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※準主業経営体：農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※副業的経営体：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業経営体及び準主業経営体以外の個人経営体）

※農林業センサス(2020)より、経営体の主副業別の調査が実施されているため、平成27年以前は経営体の総数のみ表示

【参考】農家戸数と農業経営体について

2020年農林業センサスから農家戸数における専業農家・兼業農家を分類するための調査項目が廃止されたため、令和2年より国の統計で使用されている農業経営体における主副業の分類を用いて、把握するもの。

○用語の定義

用語	定義
農家	経営耕地面積が10 a以上の農業を営む世帯又は農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯
専業農家	経営耕地面積30 a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家（販売農家）のうち、世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家
第1種兼業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる販売農家（兼業農家）のうち、農業所得の方が兼業所得よりも多い農家
第2種兼業農家	兼業農家のうち、兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家
自給的農家	経営耕地面積が30 a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家
農業経営体 (個人経営体)	農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、①経営耕地面積が30 a以上、②農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数等、一定の外形基準以上の規模（露地野菜15 a、施設野菜350㎡、搾乳牛1頭等）、③農作業の受託を実施、のいずれかに該当するもの。そのうち、個人（世帯）で事業を行う経営体を個人経営体という。
主業経営体	農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
準主業経営体	農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
副業的経営体	1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

○農家と農業経営体の対応関係のイメージ

農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家 (自給的農家を含む)
農業経営体	主業経営体		農業経営体に該当しない農家 (自給的農家等)
	副業的経営体		

※農家と農業経営体は定義が異なるため、上記の対応関係は厳密ではない。

(2) 農家の経営主の平均年齢

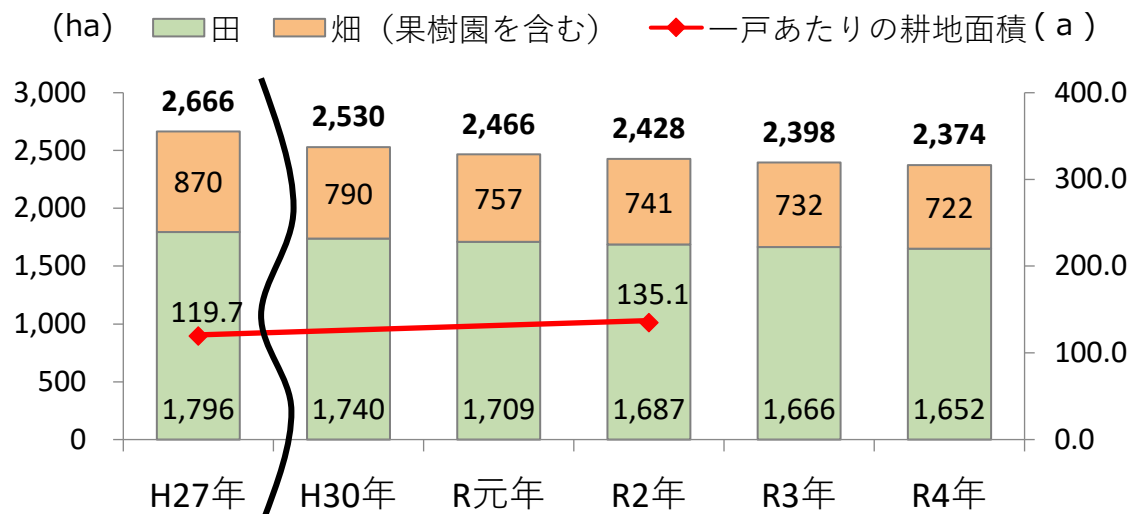
(単位：歳)

区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
経営主の平均年齢	71.7	72.1	72.6	72.9	73.3
専業農家	63.8	64.8	65.2	64.9	65.3
第1種兼業農家	70.4	70.4	70.1	70.5	70.9
第2種兼業農家	72.6	73.0	73.4	73.7	74.1

資料：福岡市農協 「組合員実態調査のまとめ」

※各年8月1日時点

(3) 農地面積



資料：福岡市農林水産統計書

※各年1月1日時点

(4) 耕作放棄地面積

(単位：ha)

区 分	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
耕作放棄地面積	361	339	338	328	317
農地面積に対する割合	14.3%	13.7%	13.9%	13.7%	13.4%

資料：農業振興課、農業委員会

※各年11月末時点

<参考>

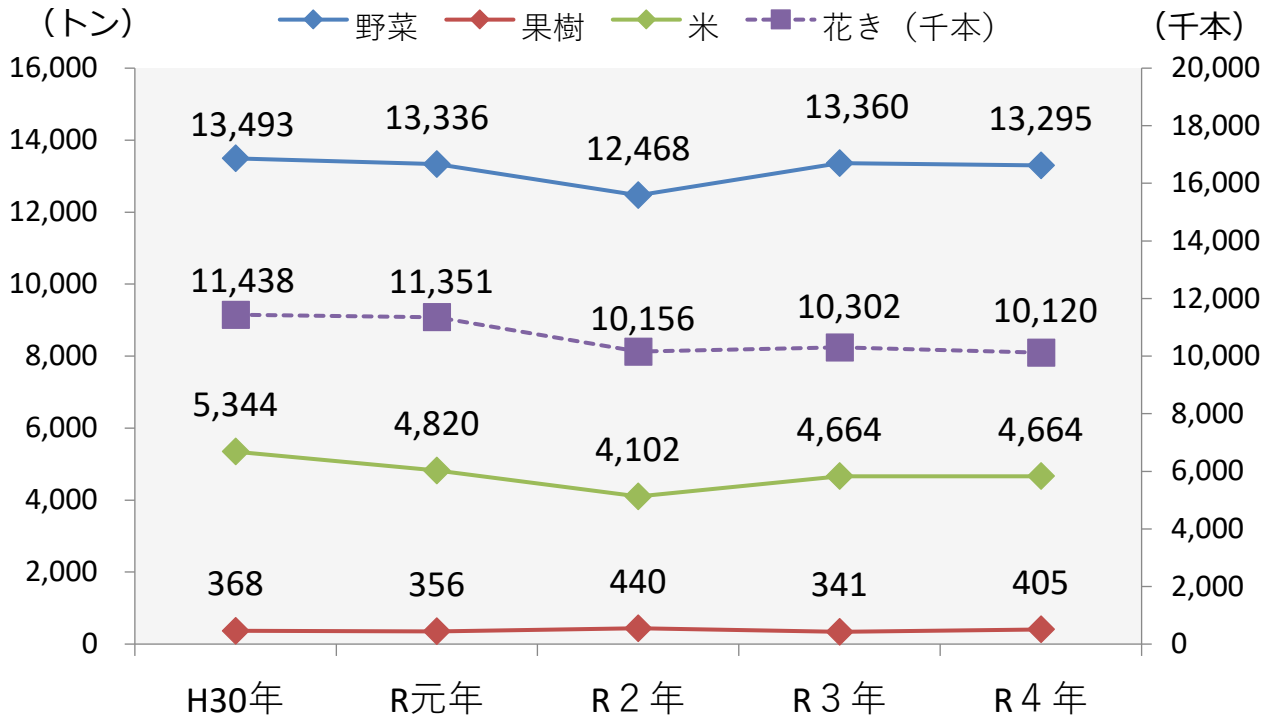
○耕作放棄地面積地区別内訳

(単位：ha)

耕作放棄 地面積 317ha	市街化区域を 主とする地域	市街化調整区域 を主とする地域	地区別内訳												
			志賀	席田	入部	脇山	内野	金武	能古	今宿	今津	周船寺	元岡	北崎	
	17	300	24	4	2	12	17	5	15	3	20	7	15	176	

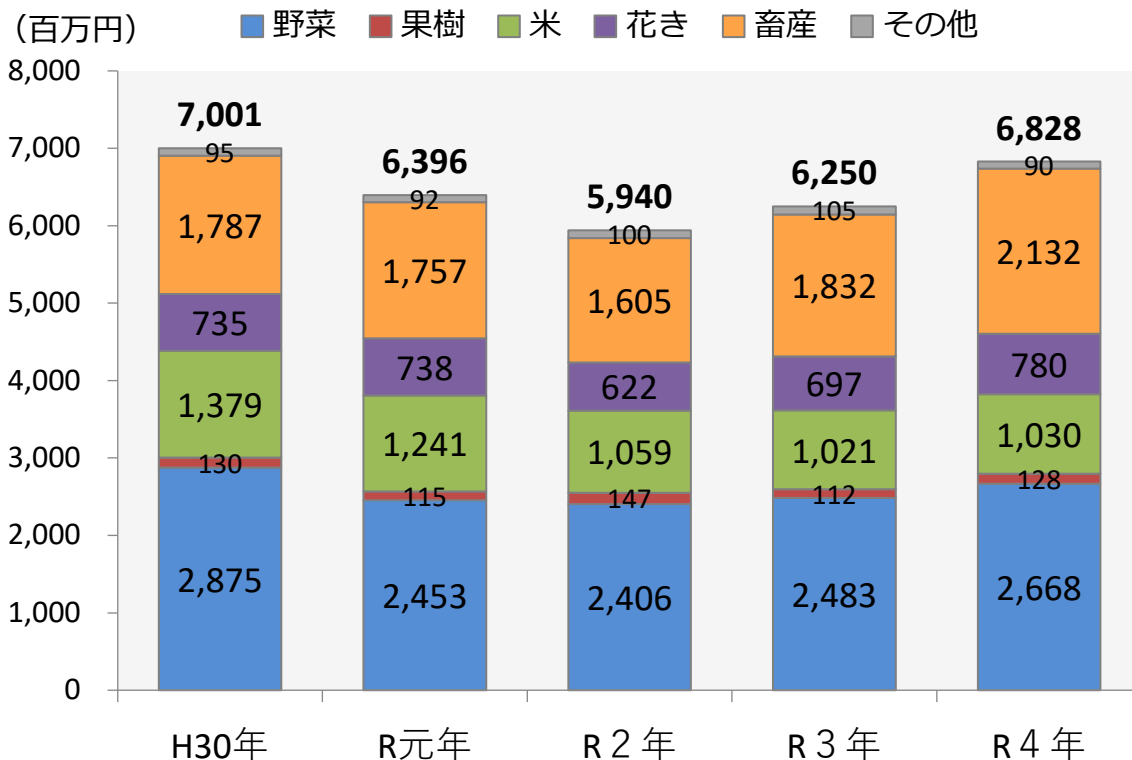
※令和4年11月時点

(5) 生産量



※ R4年は速報

(6) 生産額



※ R4年は速報

野菜、果樹、花きについては、卸売市場（市内及び市外）での取扱数量・金額を基に、各年の国産青果物の卸売市場経由率（77～80%）から算定したもので、加工、自家消費等は含まない。ただし、米については、需給調整による作付面積（実績値）を基に、生産量については単位面積あたりの収量を乗じて算定し、生産額については当該生産量に販売単価を乗じて算定したもので、自家消費等を含む。

<野菜・花きの主な品目毎の推移>

区 分		H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	前年比	
野菜	生産量(トン)	13,493	13,336	12,468	13,360	13,295	99.5%	
	生産額(百万円)	2,875	2,453	2,406	2,483	2,668	107.5%	
	だいこん		5,601	6,120	5,720	6,067	6,308	104.0%
			481	234	232	293	383	130.7%
	トマト		1,659	1,605	1,517	1,464	1,586	108.3%
			478	468	447	430	469	109.1%
	キャベツ		1,448	1,166	1,218	1,447	1,353	93.5%
			160	69	81	97	113	116.5%
	かぶ		1,277	1,355	1,187	1,327	1,058	79.7%
			115	96	81	92	90	97.8%
	いちご		504	525	492	485	507	104.5%
			588	641	642	657	684	104.1%
しゅんぎく		572	587	652	617	624	101.1%	
		378	378	389	376	382	101.6%	
その他		2,432	1,978	1,682	1,952	1,859	95.2%	
		675	567	534	539	547	101.5%	
花き	生産量(千本)	11,438	11,351	10,156	10,302	10,120	98.2%	
	生産額(百万円)	735	738	622	697	780	111.9%	
	バラ		3,587	3,794	3,434	3,593	3,654	101.7%
			288	310	248	309	356	115.2%
	ストック		1,903	1,859	1,829	1,666	1,832	110.0%
			105	120	104	98	118	120.4%
	ガーベラ		893	840	661	724	787	108.7%
			14	15	11	14	18	128.6%
	トルコギキョウ		759	689	652	674	674	100.0%
			51	44	54	51	54	105.9%
	菊		871	886	830	850	688	80.9%
			37	40	38	35	35	100.0%
その他		3,425	3,283	2,750	2,795	2,485	88.9%	
		240	209	167	189	199	105.3%	

※ R4年は速報

野菜 R4年 生産量上位5品目 (1) だいこん (2) トマト (3) キャベツ (4) かぶ (5) すいか
R4年 生産額上位5品目 (1) いちご (2) トマト (3) だいこん (4) しゅんぎく (5) すいか

花き R4年 生産量上位3品目 (1) バラ (2) スtock (3) ガーベラ
R4年 生産額上位3品目 (1) バラ (2) スtock (3) トルコギキョウ

2. 森林・林業の概況

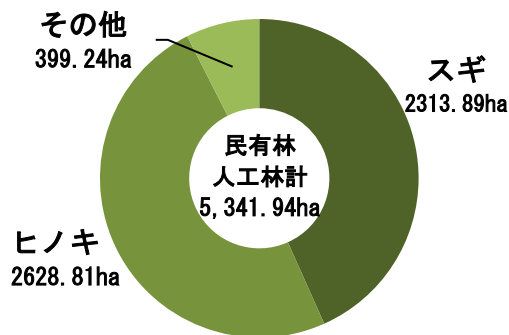
- 山林所有者の約98%が5ha未満と所有規模が零細である。
- 民有林の人工林のうち、約8割が木材として利用可能時期を迎えている。
- 森林経営管理制度に基づく森林の適切な管理を促すため、所有者への意向調査や境界の明確化を進めている。
- 公共施設での地域産材の利用を促進するため、森林組合協力のもと、市有林の木材をストック・供給する取組みを実施している。

(1) 規模別山林所有者数（令和2年）個人分

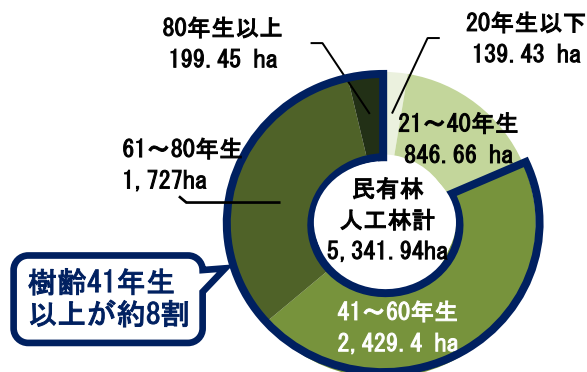
区分	総数	1ha未満	1以上-5未満	5以上-10未満	10以上-50未満	50ha以上
所有者数（人）	5,469	4,453	910	85	21	—
割合（%）	100	81.4	16.6	1.6	0.4	—

資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（福岡市分）

(2) 樹種別面積（令和2年）

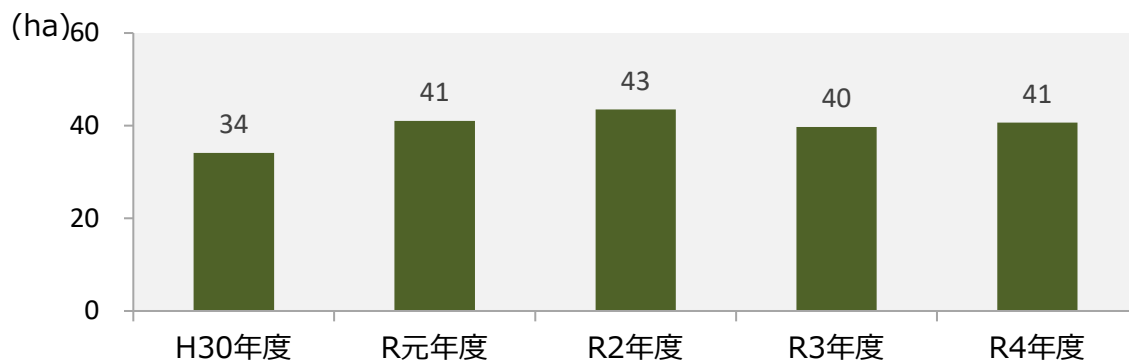


(3) 樹齢別面積（令和2年）



資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（福岡市分）

(4) 荒廃森林整備面積の推移



※ 荒廃森林整備事業の対象となる森林面積：2,586ha（令和4年度末）

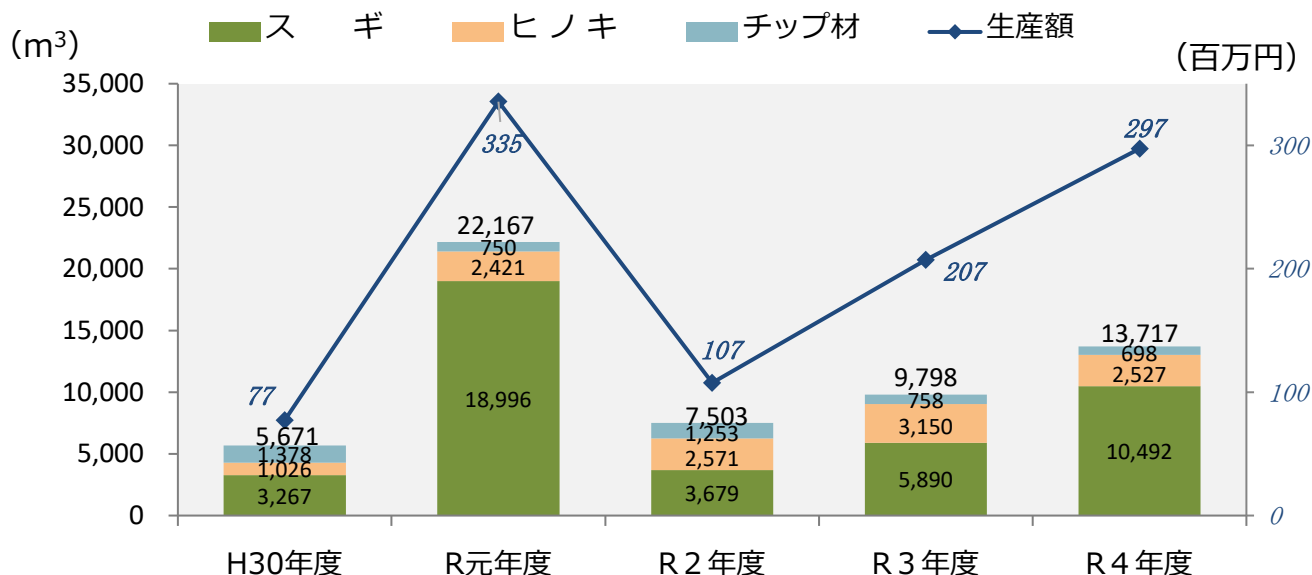
※ 平成20年度から平成29年度までに1182.62ha実施済み

(5) 森林経営に係る意向調査等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
意向調査 (ha)	10	110	146	197
境界明確化 (ha)	—	—	21	83

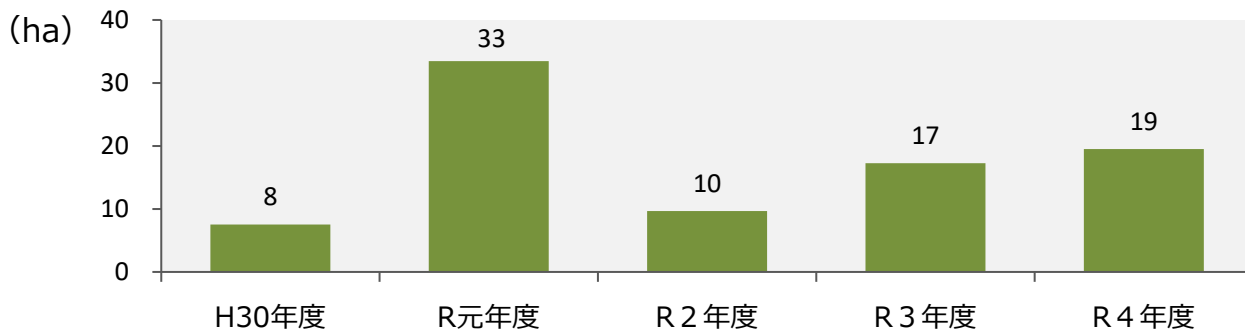
※ 境界明確化は令和3年度より実施

(6) 生産量・生産額



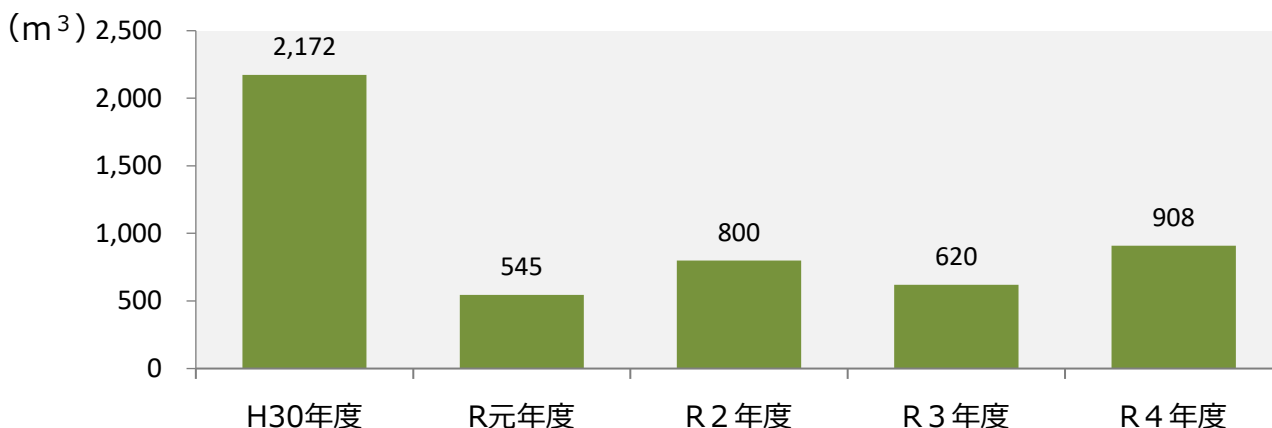
資料：福岡市農林水産統計書

(7) 主伐面積



資料：福岡市農林水産統計書

(8) 市公共施設整備における木材使用量

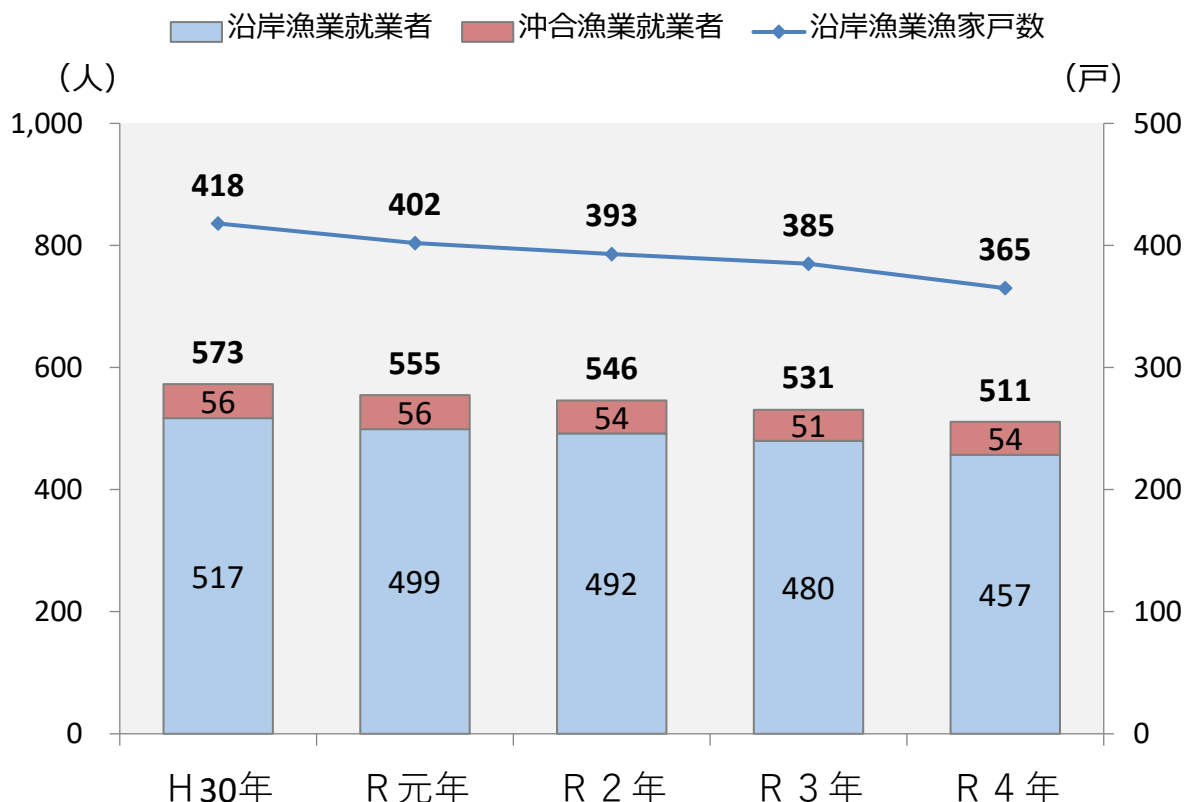


区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
木材使用量(m³)	2,172	545	800	620	908
うち地域産材 (県産材含む)	88	12	31	39	122
主な使用施設	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館 福岡市美術館 小中学校 (照葉北小他) 公民館(百道) 市営住宅 (城浜他) 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校 (賀茂小他) 公民館 (田村他) 市営住宅 (杵岐他) 	<ul style="list-style-type: none"> 鮮魚市場会館 小中学校 (今宿小他) 市営住宅 (城浜他) 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所 (早良、中央) 早良南地域 交流センター 小中学校 (周船寺小他) 市営住宅 (弥永他) 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所 (東、南、城南、早良) 小中学校 (西都北小他) 公民館 (飯倉中央他) 市営住宅 (下山門他)

3. 水産業の概況

- 漁家戸数（対前年比5.2%減）、漁業就業者数（対前年比3.8%減）ともに減少している。
- 生産量は、沿岸漁業（対前年比14.7%減）、沖合漁業（対前年比16.3%減）となっており、全体は減少（対前年比15.7%減）、生産額は、沿岸漁業（対前年比2.9%増）、沖合漁業（対前年比18.7%減）となっており、全体は減少（対前年比5%減）している。

（1）漁家戸数、漁業就業者数



資料：福岡市農林水産統計書

※各年12月末時点

（2）漁業就業者の平均年齢

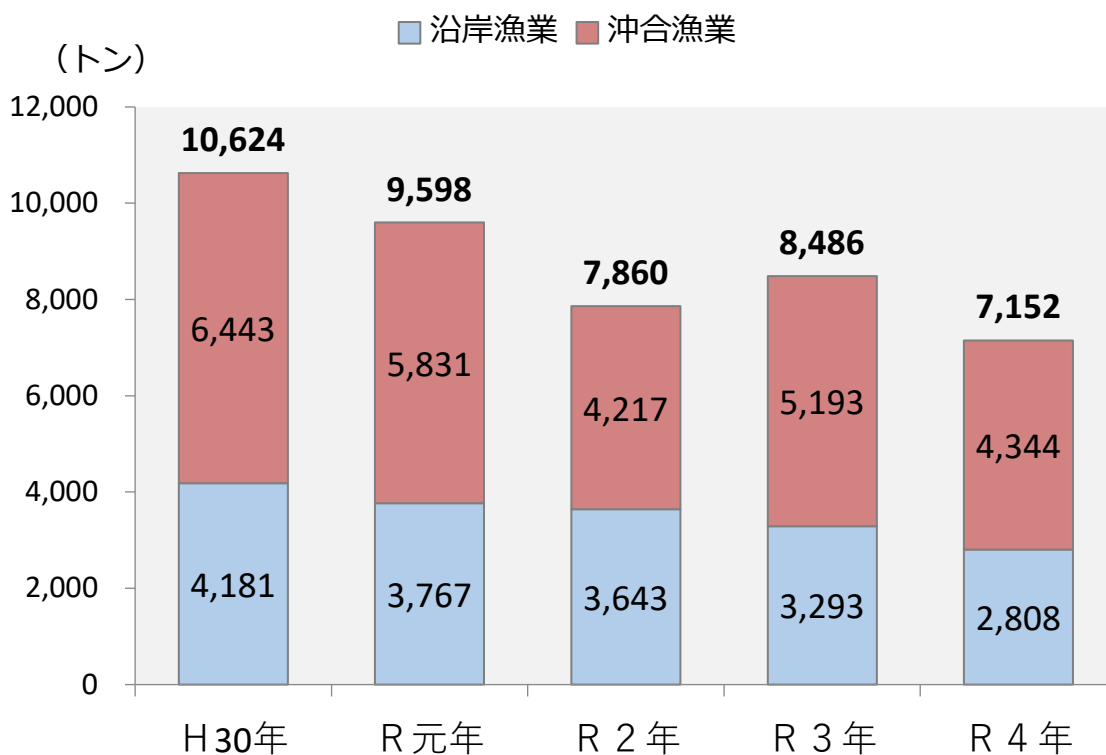
(単位：歳)

区分	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
就業者の平均年齢 (沿岸)	59.9	59.9	60.2	60.6	60.9

資料：漁家調査

※各年12月末時点

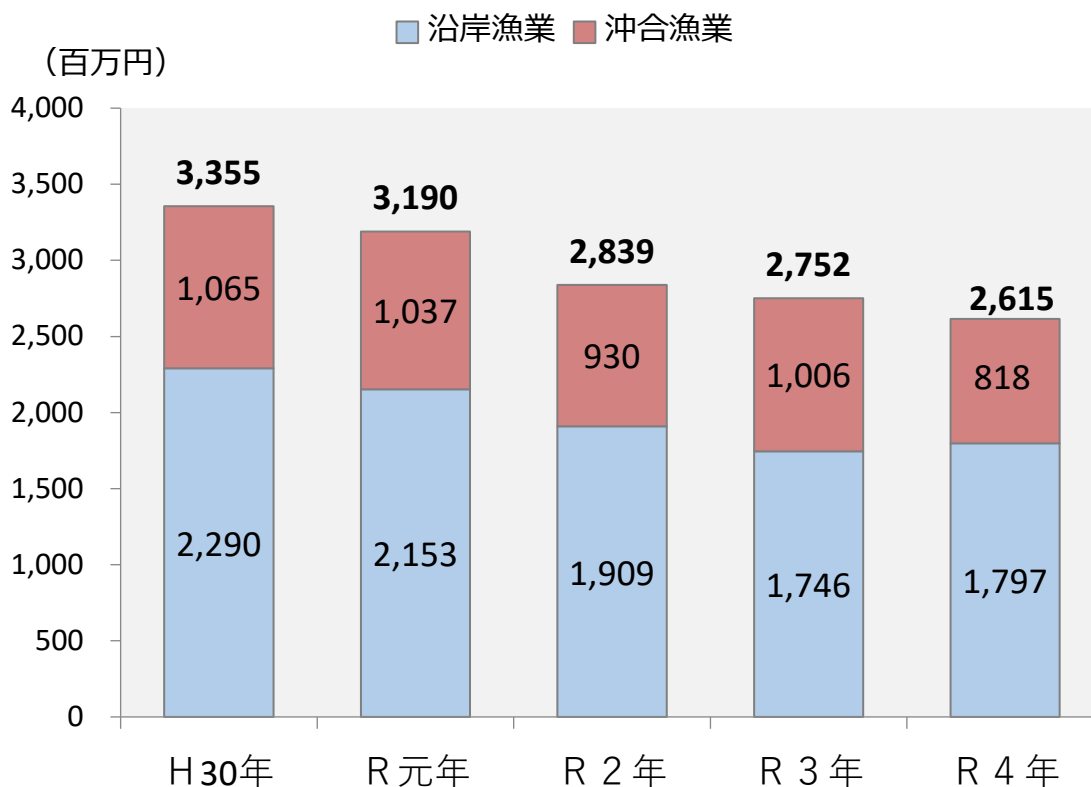
(3) 生産量



資料：福岡市農林水産統計書

※ R4年は速報

(4) 生産額



資料：福岡市農林水産統計書

※ R4年は速報

＜主な魚種別生産量の推移＞

区 分		H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	前年比	
①② 計	生産量 (トン)	4,181	3,767	3,643	3,293	2,808	85.3%	
	生産額 (百万円)	2,290	2,153	1,909	1,746	1,797	102.9%	
① 沿岸 漁業	生産量 (トン)	3,860	3,525	3,366	3,105	2,572	82.8%	
	生産額 (百万円)	2,128	2,020	1,738	1,610	1,677	104.2%	
	湾内 漁業	コノシロ	168	185	265	177	123	69.5%
			30	30	44	29	21	72.4%
	湾内 漁業	タチウオ	30	18	48	64	68	106.3%
			34	20	36	61	63	103.3%
	湾内 漁業	スズキ	81	77	86	61	75	123.0%
			56	48	36	34	49	144.1%
	湾外 漁業	タイ	684	690	682	476	443	93.1%
			407	452	378	244	250	102.5%
		ブリ	532	457	416	551	307	55.7%
			226	189	153	166	130	78.3%
		カワハギ	513	452	243	126	107	84.9%
			137	143	105	62	56	90.3%
		サワラ	142	161	209	172	198	115.1%
			154	139	169	150	226	150.7%
ヒラメ	94	87	73	98	52	53.1%		
	104	100	68	88	64	72.7%		
その他	1,616	1,398	1,344	1,380	1,199	86.9%		
	980	899	749	776	818	105.4%		
② 養殖業	生産量 (トン)	321	242	277	188	236	125.5%	
	生産額 (百万円)	162	133	171	136	120	88.2%	
	ノリ※1	205	148	138	106	159	150.0%	
		104	85	95	82	71	86.6%	
	ワカメ※2	67	52	75	31	32	103.2%	
		15	13	18	8	9	112.5%	
カキ	49	42	64	51	45	88.2%		
	43	35	58	46	40	87.0%		
沖合 漁業	生産量 (トン)	6,443	5,831	4,217	5,193	4,344	83.7%	
	生産額 (百万円)	1,065	1,037	930	1,006	818	81.3%	
	サバ	4,496	4,186	1,981	3,258	2,279	70.0%	
		445	423	225	327	234	71.6%	
	アジ	1,660	1,314	1,865	1,513	1,686	111.4%	
		341	289	416	347	295	85.0%	
その他	287	331	371	422	379	89.8%		
	279	325	289	332	289	87.0%		

※1 生ノリの重量

※2 生ワカメの重量

※ R4年は速報値

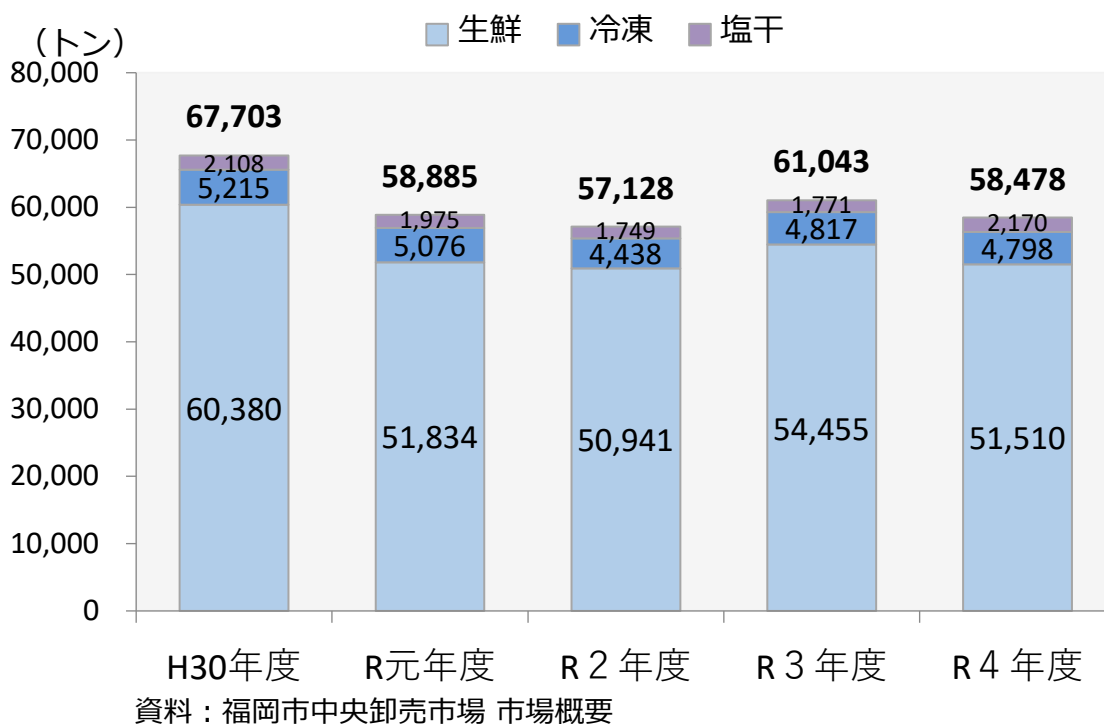
沿岸	R4年 生産量上位5種	(1) タイ	(2) ブリ	(3) サワラ	(4) ノリ	(5) ワカメ
	R4年 生産額上位5種	(1) タイ	(2) サワラ	(3) ブリ	(4) イカ	(5) アワビ
沖合	R4年 生産量上位3種	(1) サバ	(2) アジ	(3) マグロ		
	R4年 生産額上位3種	(1) アジ	(2) サバ	(3) マグロ		

4. 中央卸売市場の概況

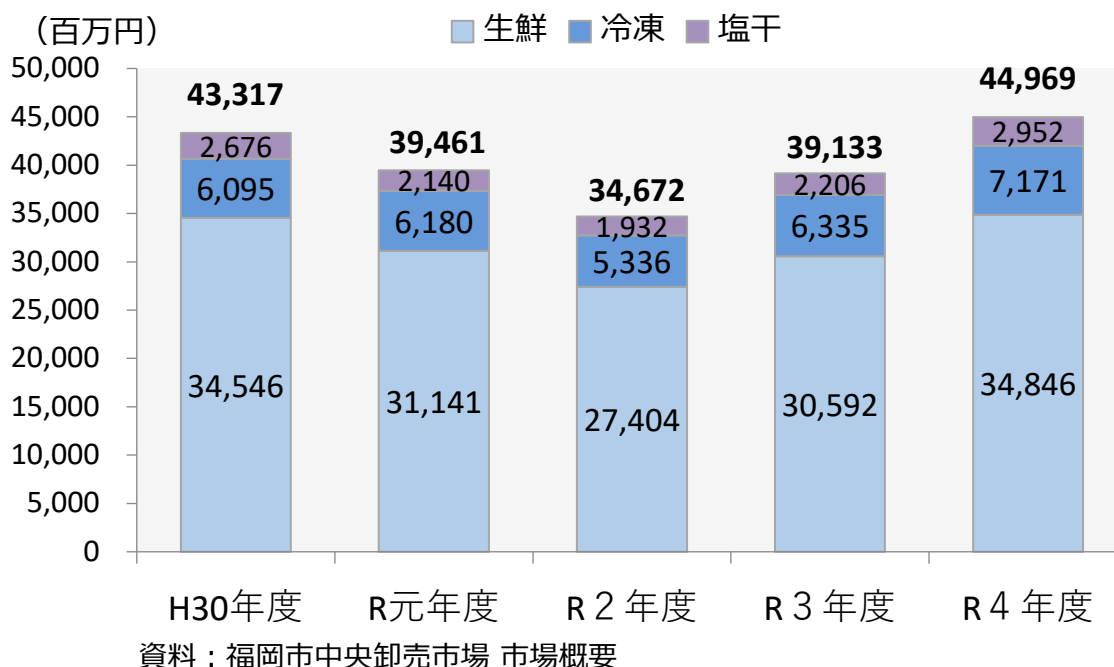
- 水産物部 取扱数量（対前年度比4.2%減）は減少したが、
取扱金額（対前年度比14.9%増）は増加している。
- 青果部 取扱数量（対前年度比1.3%減）は減少したが、
取扱金額（対前年度比4.2%増）は増加している。
- 食肉部 取扱数量（対前年度比1.5%減）
取扱金額（対前年度比2.3%減）ともに減少している。

(1) 水産物部

<取扱数量>

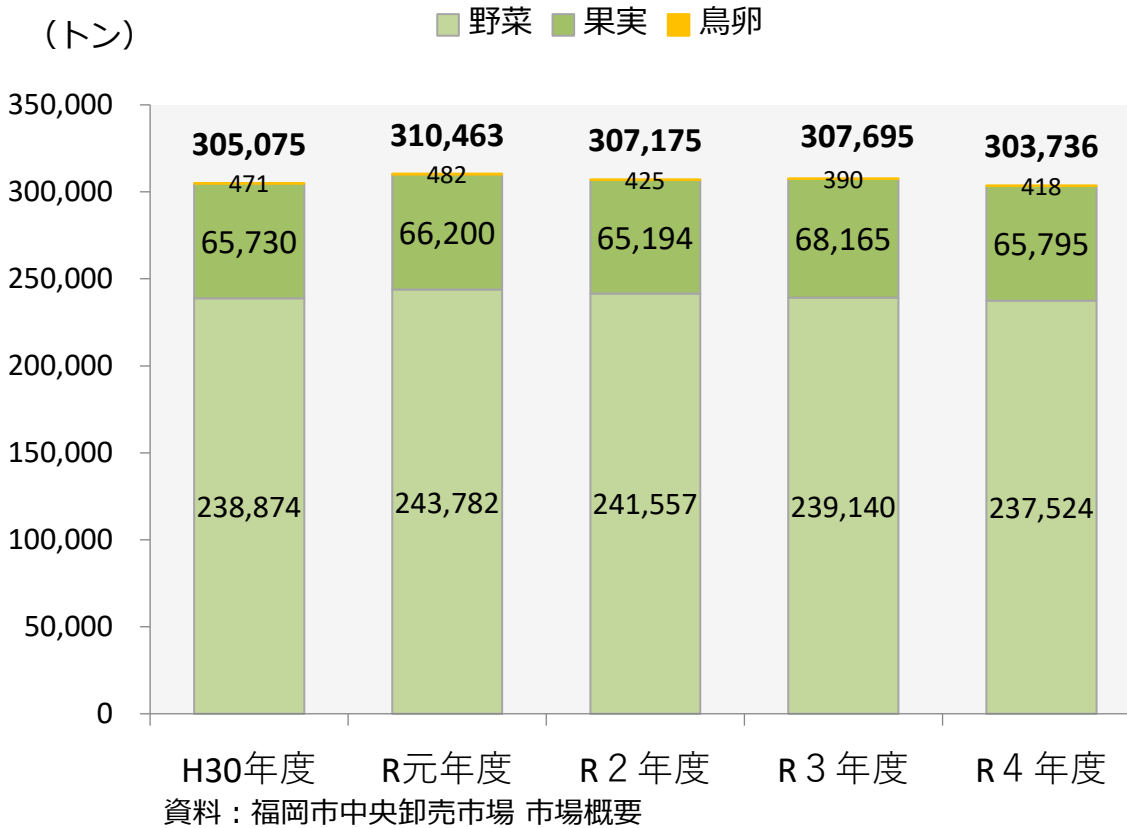


<取扱金額>

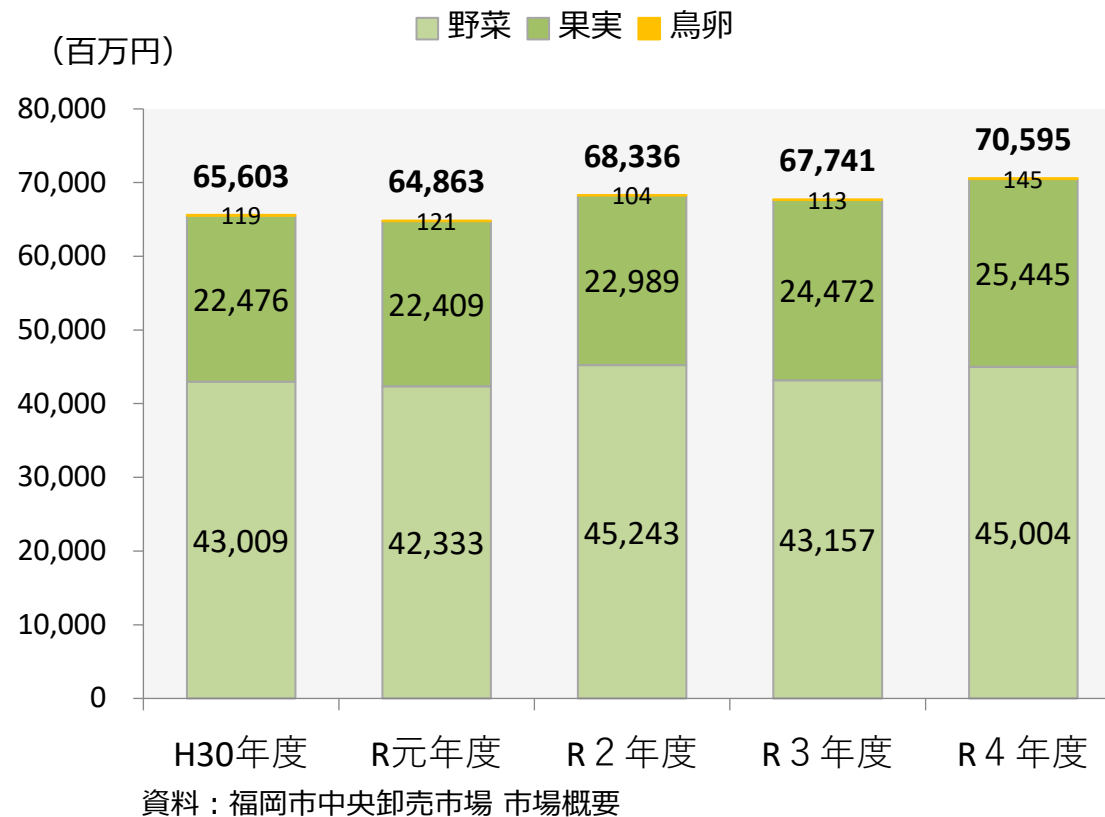


(2) 青果部

<取扱数量>

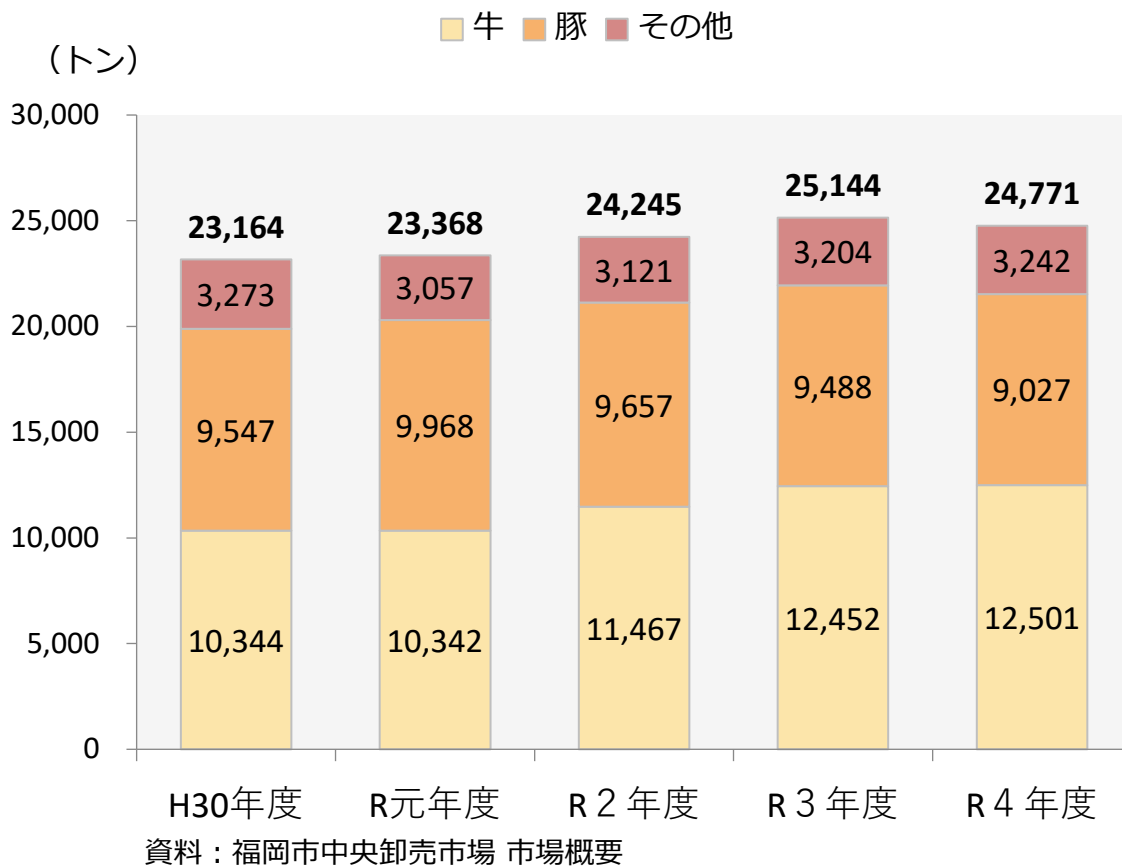


<取扱金額>

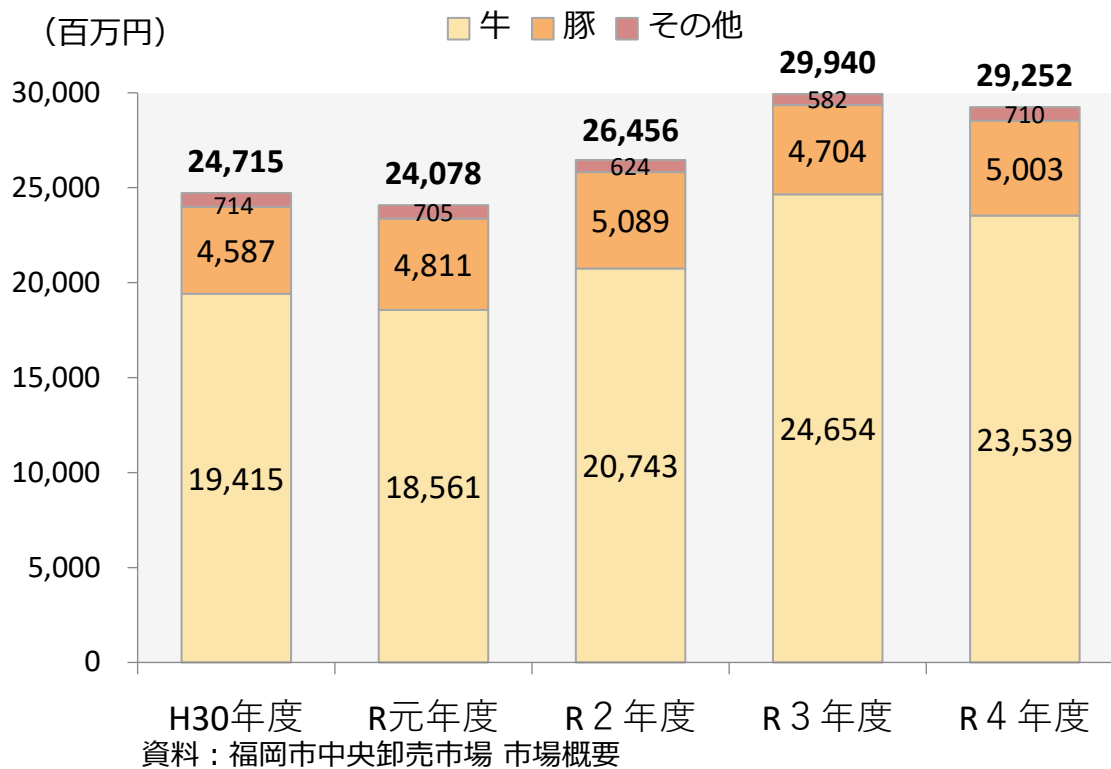


(3) 食肉部

<取扱数量>

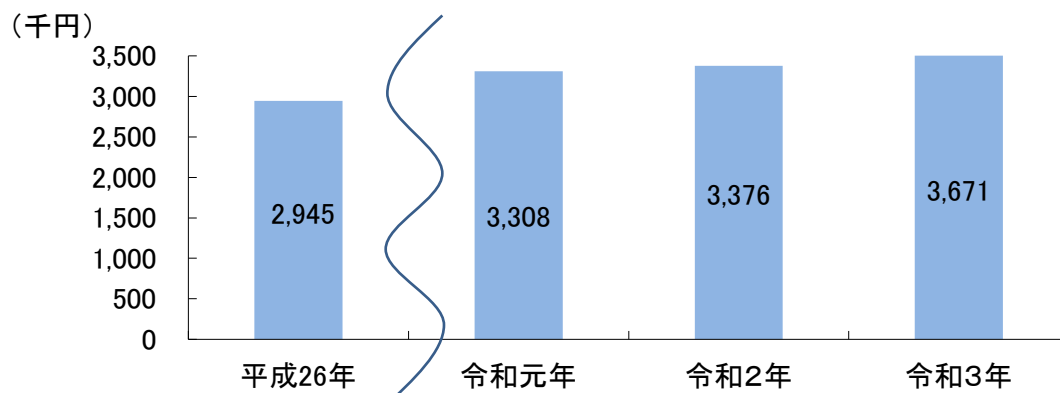


<取扱金額>



【参 考】

(1) 専業農家の一戸あたりの平均農業所得



令和4年度福岡市農家所得調査（専業別）

(単位：千円)

区分	専業農家	第一種兼業農家	第二種兼業農家
令和3年平均農業所得	3,671	2,713	361

※調査対象：福岡市農業協同組合の組合員世帯3,083戸（回答数374戸）

<参考>

令和4年度組合員実態調査のまとめ（JA福岡市）

区分	専業農家	第1種兼業	第2種兼業	備考
平均世帯人員(人)	3.9	3.6	3.1	令和4年度農家の実態調査のまとめ（JA福岡市）を基に算出
一戸当たりの農地耕作面積 (a)	160.1	173.2	31.0	「農地耕作面積」は畦畔を含まない面積で、栽培面積(作付作物あり)と管理面積(作付作物なし)の合計

※令和4年8月1日時点

(2) 沿岸漁業の一戸あたりの平均漁労所得

福岡市漁労所得調査

(単位：千円)

区分	平成27年	令和2年
平均漁労収入	5,070	4,478
平均漁労支出	2,633	2,249
平均漁労所得	2,437	2,229

※令和2年調査対象：福岡市漁業協同組合388戸（回答数368戸）

